

本当に欲しい結果は何ですか？

小学生に 英検受験を させてはいけない理由

英検3級を受験して
私が変わったことを伝えたい



フォニックスが学べる
子ども英会話スクールSTEP by STEP主宰
久保田 恵

はじめに

この度は【小学生が自宅学習で英検5・4級に合格できるプログラム】にご興味を持っていただきありがとうございます。

自宅英語教室を運営している久保田恵です。

フォニックスを学ぶこと・コミュニケーションできること・プレゼンテーションができることを目標に掲げ、主に小学生のクラスのレッスンをしています。そんな教室をやっている私が“なぜ英検のプログラム”を開発したのか、そして“小学生に英検を受験させてはいけない理由”という冊子を書いたのか、不思議に思われるかもしれませんね。続きをお読み頂ければ幸いです。

私と英検との関係を少しだけ

プロフィールにも書いていますが、私は40歳から英語の勉強をして、子ども英語の先生になりました。中学2年生の時（40年以上も前！）に英検4級を受験し、合格したものの、次の3級には面接があることにすっかり尻込みし、その後は、英検とは関わらないことにしました。そして月日は流れ、長女が高校生になった時に“英検を受ける”というので、どういう訳か“ママも受けるわ”と言ったのがことの始まりでした。はるか昔に尻込みしていた英検3級は、私にとっては中学生の時の忘れ物です。忘れ物を取りに行くため、まずはここをクリアしようと目標を決めたのです。

実際に勉強を始めてみると面白かったですね。もう何年も英語とは関わっていませんでしたので、あやふやだった知識が整理され、あんなに拒否していた面接も“英語を話すチャンスがようやくきた”とポジティブに捉えることができました。私が受験する3級は、中学生の受験者が多く、小学生もちらほら（当時）、かなりのアウェー感もありましたが、教室で試験を受けるという体験もなかなかできるものではないし、心地よい緊張感を味わいました。1クラスの中、大人は私を含めて3人。その人たちに“一緒に頑張りましょう”と心の中でつぶやいたのでした。

筆記は満点で合格。当たり前と言えば当たり前なのかもしれませんが、3級だからと言って手を抜くことなく十分に準備をしていたので、合格の達成感は一瞬で消えなかつたです。そして私が越えなければいけない壁～二次試験の面接ですが、態度（attitude）で1点引かれて、念願の満点合格とはいきませんでした。悔しかったです。でも仕方ありません。ウン10年ぶりに口から英語を発したのですから。自信のなさが試験官に伝わったのでしょうか。それから私は、

会話も頑張りたい！と自己流で練習を始めたのでした。

『ももっとも勉強したい』**たったひとつの英検合格が、私をこんなに熱くさせた**のです。

生徒さんには英検を受けさせたくない

大人になって英検3級を受験してから数年経ちました。私は某フランチャイズの子供英語教室のホームティーチャーとして仕事を始めました。自分が英語を勉強して楽しかったことをお子さんにも伝えたくてからです。

だけど、生徒さんが英検を受験することにはあまり賛成ではありませんでした。その教室のカリキュラムは、英検を目的とはしておらず、普段の学びの中から英語を習得するというもので、小学6年生になった頃には“特別なことをしなくても”英検5級に合格できるレベルのレッスンを提供していました。ですから6年生になったら、試験に耐えられそうなお子さんには『5級を受けてみたら？』と気軽にお声かけするだけで、英検のための特別授業がなくてもみんな合格していました。中学卒業までに英検準2級が合格できれば良いと考えているので、試験を受けるということに慣れていない小学生を無理に受験させたいとも思っていませんでした。

この考えは、自分の教室を持ってからも変わりません。

英検受験で得るもの失うもの

それでも、小学生で英検を受けたい生徒さんはたくさんいらっしゃいます。普段のレッスンの様子を見て大丈夫そうな生徒さんだと良いのですが、まだ機が熟していない生徒さんから『英検を受けたい』と言われると、どうしていいかわからなくなります。

それは、私自身がしっかり準備をして英検を受け、合格した達成感を味わったことで、その後も英語の勉強が楽しくなったという経験から。**人生も変わってしまうほどの喜び**なのですから。

1回の人生～英検を受けるチャンスは、5級・4級・3級・準2級・2級・準1級・1級と、最大で7回しかないのです。一つ一つの級の合格で学べることや感じることはたくさんあるはず。その大切なチャンスを無駄にして欲しくないのです。

機が熟していない小学生さんが英検を受験したという経験もしてきました。大抵は『ママが受けろと言ったから』『友だちの〇〇君も合格したから』という理由から始まります。そんな一言から始まる英検受験は要注意です。

ケース1) 大して準備せずに5級に合格した場合

正直言って、英会話教室に通っているお子さんでしたら、リスニングだけで得点できますし、なんとなくのマークシートで合格しちゃいます。すると次の4級も勉強しなくても合格できるのだと錯覚してしまう。もちろん小学生のお話しです。男子と女子とでも精神的には発達が違いますし、一概には言えませんが、私の経験から～英検5級にカンタンに合格した男子小学生『英検受かったのでレッスンやめます』ということになりました。普段の会話のレッスンではとても積極的だったので、この先が楽しみな生徒さんただだけに、とてももったいないことになりましたね。英検5級に合格しただけで自信を持ちすぎた結果です。

ケース2) 家族がゴリゴリ勉強させちゃった場合

『まだ機が熟していないので～』と言いづらくて言葉をにごしているうちに、5級なら家で教えますと言われることもあります。時々心配になって『どうやって勉強しているの?』と生徒さんに聞くと、『テキストを買いました』『日曜日はパパとミスドで勉強してます』と実態のない返事。私としてはその生徒さんのことが心配でたまらないので、こっそり英検のプリントを渡して、やったらLINEで見せてねと申し出るのですが、『わからない単語があるので、調べてちゃんとわかってから提出します』と言われ、ああ～となります。大人はどうしても1から教えたくなる。ついつい“be動詞とは～”みたいなところから説明してしまうのですが、普段のお子さまの英語の経験値や、**小学生は小学生なりの理解の仕方がある**ということをお家の方はご存知ないので、その説明ではお子さんは混乱を招くことは明らか。その生徒さん、レッスンに来るたび表情が暗くなり（でも私には相談できない）自信を失っている様子を見ると、『英検の勉強、進んでる?』とも言いづらい雰囲気。ご家庭内でも大なり小なり、ナニかあると感じています。餅は餅屋（子ども英語講師）にお任せ頂ければなあ～と思ったエピソード。

ケース3) ど根性! 不合格からスタートした女子

彼女が小学6年生の時、私は英検受験を勧めませんでしたが『友だちが合格したから』と勝手に受験しました。もちろん不合格。だけど彼女のすごいところは、めげなかったこと。中学生になったら学校の先生に質問しまくり、私がお手伝いしなくても英検2級を取得し、英語専科のある高校に進学しました。中学生の時に洋楽が好きになったことも、彼女の知識欲を満たそうとしたのかも知れません。すごいよ!

ケース4) 淡々と英語勉強していた女子

この生徒さんとは、小学6年生の卒業と同時に別れしたのですが、弟くんを引き続き担当していたこともあり、その後のお姉ちゃんの様子を聞いていました。なんと塾にも行かず、Eテレの英語講座だけで、中2の時点で英検2級に合格。小学生の時には、特別コースもダブル受講していたので、基礎がしっかりできており、まさに機が熟した時の英検受験で、本人の実力が発揮されたのだと思います。

ケース5) 両親を説き伏せて英検コースを受講した女子

先ほどお話しした通り、私の教室では、小学6年生になった頃には“特別なことをしなくても”英検5級に合格できるレベルのレッスンを提供していますので、ふだん英検に関するお話をすることはありません。この生徒さん、レッスンを始めてまだ数ヶ月なのに『英検を受験したい』と言われ、正直またか〜と思ってしまいました。本人のモチベーション次第でその後どうなるかは、1〜4のケースでお読み頂いた通りです。ですから、英検受験を決める前にお母さまも同席で“本人の覚悟”をヒアリングしました。そしてこの4ヶ月で合格を目指すのであれば、私ができるサポートを最大限にしたいと思い、手探りで【小学生が自宅学習で英検5・4級に合格できるプログラム】を開発しようと思ったのです。普段のレッスンにも意味がある。それを疎かにしないことを約束して、追加のレッスンとして受講してもらうことにしました。もちろん別のレッスンとしての受講料が発生するわけですから、彼女が一生懸命ご両親を説き伏せたことは言うまでもありません。

本気の小学4年生と作ったカリキュラム

ひよんなことから、単語や文章を書くことに精一杯だった生徒さんを4ヶ月後に英検合格させるのが私のミッションとなりました。責任重大です。

【小学生が自宅学習で英検5・4級に合格できるプログラム】のカリキュラムをご紹介します。

●文法

→小学高学年さんが理解できる英語の概念を3分程度の動画で説明。
繰り返し観て、覚えてしまうほどのシンプルな説明をする。

●書くこと

→英検ではマークシートですが、このカリキュラムでは書くこともします。

中学英語につなげるためです。

ワークシートの文章は、小学高学年さんの生活に基づいたものなので、文章を理解しやすく習得が早いです。

●単語

→ゲームで覚えます。

●確認

→いつでもLINE添削&週1回（4ヶ月間で12回）の30分Zoomレッスン。

●合格保証

上記のカリキュラムを実施したところ、2ヶ月がすぎた頃には～英検5級の過去問題で正答率90%以上が続くようになりました。生徒さん自身の努力も大きかったと思います。このプログラムの受講期間をあと2ヶ月残し（折り返し地点）、目標を5級にするのか4級にするのか、かなり悩みました。結果、少しチャレンジではあるけれども4級を受験することに。いったん5級の過去問題で自信をつけているので、“やればできる”という気持ちが大きくなってきたいです。4級の内容になったとたん問題数も多いですし、内容も難しくなっていますが、ちゃんと取り組んでいる。まさか、英語のレッスンを始めて1年も経っていない小学4年生がここまでたどり着いたとは！！！！

小学生に英検を受験させてはいけない理由

ここまでお話ししてきた通り、小学生の英検受験は知識の問題だけではないのです。大人が当たり前だと思っていることでも、まだ人生経験が少なくて乗り越えることができないこともあるのです。それはお子さまによって違う。

今まで学校以外のテストを受けたことがない小学6年生さんは、テスト中もお構いなしに隣の子を見たりします（カンニングとは限らないけど）一方、小学受験をされる年長の生徒さんは、とにかく解答用紙から目を離さず、カンニングを疑われるような動作はしません。これは年齢の問題ではなく、経験です。

自分が納得しなければ、学んだことはすぐ頭を素通りするけれども、自分が望んで学んでいるのであれば、どんな小さなことでも知りたくなる。

色々な条件が整った時に英検を受験するのは大賛成です。

英検～これほど楽しいゲームはありませんから！

お子さまにとって“本当に欲しい結果”を見つけることができれば、ぜひ

【小学生が自宅学習で英検5・4級に合格できるプログラム】にお問い合わせくださいね。全力で応援したいと思います。STEP by STEP 久保田 恵

あとがき

最後までお読みいただきありがとうございました。英語を学ぶことは素晴らしいことだけど、英検だけが結果じゃない。機が熟した時に受験をして、合格の達成感を味わって欲しいと思っています。私個人の意見ではありますが、小学生の英検受験のこと、共感していただける部分があったでしょうか？ご感想を頂けると嬉しいです。

●私の教室

フォニックスが学べる子ども英語スクール STEP by STEP

公式LINE

↓↓↓

<https://lin.ee/vSILFr1>

●自宅教室をマネタイズするための右脳型デジタルサポート

公式LINE

↓↓↓

<https://lin.ee/5r.jhfDV>

●Facebook グループ

子ども英語講師のためのデジタル部 主宰



プロフィール

こんにちは！

40歳過ぎてもあきらめきれずに子ども英会話の先生になった久保田恵です。もともとは大手音楽教室のシステム講師でした。すでに社会人となった子ども

が二人おりますが、子育てをしながら20年以上稼働しました。音楽教室の講師として忙しい毎日を送っていたのですが、子どもたちが中学生になり、英語を勉強しているのが羨ましくて、40歳過ぎた時に独学で中学英語から学びなおしました。その後、英会話スクールに通い、通常の2倍のクラスを受講して【小学英語指導者 J-SHINE】を取得。

10年近く大手子ども英会話教室のホームティーチャーとして稼働、そして教室を閉鎖。空白の2年間で指導法とフォニックスを学びなおし、STEP by STEPを開講。私自身が英語を習得することに苦勞してきたこともあり、生徒さんたちにはまず【英語学習の楽しさ】を伝え、深い学びや気づきがあるレッスンを提供しています。

私のスクールから一人でも多くのお子さんが世界に羽ばたいてくれるのが私の願いです。